

団地完成40周年の
節目の年にあたって。

KIMASSI

Vol.98
February

KANAZAWA

FEBRUARY 2007 KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 金沢問屋センターニュース
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

平成19年 理事長年頭挨拶
平成19年経済の見通し
年男、大いに語る
バトンエッセー
街なかTOPICS
うちのキラリンさん



事務局だより

INFORMATION

11月

- 6日 理事会
1. 総務委員会より
(1) 集団健康診断の結果について
(2) 中間決算報告について
2. 厚生委員会より
(1) 労務管理セミナーの開催
(2) 経営者研修会の開催
3. 組合運営委員会より
(1) 紙ごみ分別回収について
(2) 金沢ナンバーに変更の皆様へお願い
(3) 町内一斉清掃の実施報告
4. 事業戦略委員会より
(1) 中小企業組合等活路開拓調査について
(2) 広報誌について
5. 中西青年部会会長より
中国視察について報告
6. 事務局より
(1) 受章について
(2) 「金沢商人塾」第3回結果報告と第4回例会
について
(3) キマッシマークのステッカーの配布
●8日
不燃物有料回収
●9日
新入社員フォローアップ研修
●27日
労務管理セミナー

12月

- 4日 理事会
1. 総務委員会より
(1) 新年祭について
(2) 新年互礼会について
(3) 新入社員歓迎式について
(4) 景況調査の実施について
(5) 生活習慣病の予防健診について
2. 厚生委員会より
(1) 経営者研修会の開催
(2) 中堅幹部社員研修会について
(3) ルネスかなざわの入場券について
3. 組合運営委員会より
(1) 金沢流通会館の修繕について
(2) 紙ごみ分別回収について
(3) 駐車場ライン引き直し
4. 事業戦略委員会より
(1) 組合員へのメール配信について
(2) 古いパソコンの処分について
(3) 広報誌について
5. 事務局より
(1) 事務局の年末年始休日について
(2) 石川県民手帳の配布について
(3) 「金沢商人塾」第4回結果報告と第5回例会に
ついて
(4) 河川工事の実施について

編集後記

今年は何屋センター完成40周年の節目を迎えます。社会的責任の中の一つである事業の継続・存続を求められる中、過去、問屋無用論をはじめいろいろと難しい局面がありました。みなさんの叡智と努力で40年以上にわたり継続してこられたことは、素晴らしいことで、喜ばしい限りです。今年の大河ドラマ「風林火山」は甲斐武田氏の軍旗ですが、「疾如風、徐如林、侵掠如火、不動如山」は孫子の旗に記された句でもあり、楽しみにじっくりと見たいと思っています。

どの時代にも順風満帆なことは続かないのでありまして、難しいことに直面しても、自信を持って前向きに取り組んでいきたいものです。ここにきて、グローバルな時代に合理性ばかり追求してきましたが、日本的な良さ、「勤勉・情・和」など心の大切な面を強調すべきだとの声も出てきています。諦めず、希望をもって取り組んでいければと思います。

(K.T)

街なかTOPICS 「CUT SALON Terashima」リニューアル

昭和43年5月に問屋町で開業してから39年。昨年11月にリニューアルオープンした「CUT SALON Terashima」をご紹介します。

水回り・電源・建物の傷みから、この度、今の建築法に沿ったモダンな建物へと建て替えられ、それに伴って店内も大きく変えられたそうです。開放感のある高さ3メートルの天井、落ち着いた家具など若い方好みのイメージになったほか、お子様連れでも安心なようにキッズスペースも設けられています。

そして、寺島憲一マスターほか口を揃えて一番の目玉と言われるのが、完全に寝た姿勢で頭を洗えるシャンプー台です。



お客様からも絶賛のこの器械、北陸三県でも導入しているのはここだけとか。何しろ建物の建築中に導入が決まった最新のものです。頭を洗ってもらった気持ちのよさは言葉では言い表せないそうです。

その他にもエステルームでヘッドスパ(1,050円～)ができたり、営業時間も



平日の夜は8時まで受付ができたりと、仕事の後に至福のひと時はいかがでしょうか。

問屋町とは「私を育ててくれた町」。その一言と言われるマスターより、うれしいプレゼント。この記事を見たと言って、お店を利用された方に記念品を贈呈。

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうござい
ます。
平成19年の新春を迎え、謹んで新
年のご挨拶を申し上げます。
皆様には、清々しい新年を迎えら
れたことと心よりお慶び申し上げます。
さて、昨年一年間を振り返って見
ますと、日本経済はいざなぎ景気を
超え、堅調な歩みを続けており、北
陸でも製造業を中心に輸出関連の企
業が景気を牽引し、着実に回復して
いるとの観測でございませう。
併しながら、業種・規模によって
バラツキがあり、私共、流通業界に
おきましてはまだ景気回復の兆しは
見当たらず実感は伴いませんが、自
助努力により好景気の恩恵に浴する
ようにしたいと念願しております。

実験の実施やミサイル発射、ジャワ
島地震、アメリカの中間選挙で民主
党の勝利などが挙げられます。
国内ニュースでは明るいニュース
として

- ① 紀子さまが男子ご出産、秋篠宮
「悠仁」親王ご誕生祝賀ムード
- ② トリノでフィギュアスケートの荒
川選手が金メダルに輝いたこと
- ③ WBC（ワールドベースボール
クラシック）で王ジャパンが
頂点を極め、野球の醍醐味を再
確認したこと
- ④ 安倍内閣が発足し近隣諸国との
友好を保ち、教育基本法の改正
をみたこと
- ⑤ 夏の甲子園で青いハンカチ王子
がブームを呼びました

その他、日本各地で豪雨や台風、
竜巻など自然災害多発の年でもあ
りました。



県内のニュースとし
ては、「金沢ナンパー
導入」でマナー向上運
動を展開、山側環状線
が全線開通となり交通
緩和に役立つなど、自
動車に関する話題が多
かったようです。

次いで、当組合の動
きについてであります
が、まず、全国中小企
業団体中央会のご協力
のもと、中小企業組合
等活路開拓事業に取り
組みました。卸売業の
需要創造型経営革新の
ビジョンを構築するこ
とにより、組合員企業

の卸売機能を高度化し
地域卸売業として生き
残り条件を整えようと
するものです。
7月から第二期目の
「金沢商人塾」を実施
しており、「王道を求
めて」次世代経営者の
人材育成に励んでおり
ます。好評を博してい
ると確信しております。
8月には青年部会の
全面的協力により「キ
マツシカナザワなつま
つり」を開催し、地域
住民や多数の市民の皆
様に参加して頂き好評
でした。



中でも水鉄砲大会は、
NHKテレビの全国放
送にも紹介されました。
また、「金沢ナンパー」導入に伴
い、組合全体として運転マナーの向
上と普及促進宣言をして、261台
の車がサポーターズクラブに入会し
ました。

1月には紙ごみの無料分別回収の
取組を始めました。当初は各社の経
費削減のために検討を始めたので
が、環境問題としてとらえ地球温暖
化対策の一環として問屋センターが
揃って貢献したいと考えております。
本年は団地完成40周年を迎える節
目の年となりますので、特別委員会
を設け、新しい記念事業も計画して
おります。

以上のことをご踏まえ、節目の年を
機会に原点に戻り、更なる飛躍を期
すべく努力いたしますので、宜しく
お願いいたします。

いずれの事業にしましても、組合
員各位のご理解とご協力を得て推進
して参りますので、重ねて宜しくお
願い申し上げます。

この流通会館も化粧直しをして、
雰囲気もかなり良くなったと思いま
すので、これまで以上に活発に
ご利用頂きたくお願いいたします。

石川県を始め金沢市並びに関係各
機関の皆様方には、当組合の更なる
飛躍のために、一層のご指導ご支援
を賜りますことを心からお願申し
上げますとともに、皆様にとりま
してより一層のご繁栄とご多幸の年
になりますことを心から祈念申し上
げまして、私の年頭のご挨拶といた
します。

「景気拡大の中での日銀の金利引き上げ」



金沢信用金庫問屋町支店 支店長 西村 義浩

明けましておめでとうございませう。
皆様には新春をさわやかに迎
えのこととお喜び申し上げます。
現状の経済状況を把握するに当
たり、キーとなっている「景気の拡
大」と「金利の引き上げ」の2項
目について考えてみたいと思ひます。

平成18年の回顧

まず「景気の拡大」については、
バブル崩壊後の長い低迷を抜け出し、
平成14年2月から緩やかながら拡
大しております。年末で「いざな
ぎ景気」（57ヶ月間）を越え、戦後
最長になった模様です。企業の設備
投資と個人消費を両輪とする内需
主導の好循環が続き、デフレ脱却
もまもなくの見込みであります。
この景気のネーミングとして野村
証券金融経済研究所は「適温経済
景気」と命名しました。欧米では
過熱感のない景気拡大を「熱すぎず、
冷えずすぎず」の意味で「コルディロ
ックス経済」と呼ぶことが多く、同
研究所が邦訳したものです。

平成19年の展望

1. 景気について
前述の「適温経済景気」から示
すように、今年も緩やかに減速し
ながらも息の長い拡大が続くと予
想されます。
(理由として)
景気を支えているのは企業業績で
あります。民間企業はバブル崩壊
後長い低迷の時代が続き、雇用・
設備・債務の三つの過剰にあえいで
いましたが、徹底したリストラを
受け入れた結果として三つの過剰の
克服に目処をつけたものです。また
個人消費も雇用と所得の環境が向
上し、徐々に拡大してきました。
ここでポイントになったのが大手
銀行の金融不安が消えたことです。

2. 金利について
金利には「実質金利」と「名目
金利」があります。「実質金利」と
は、インフレ・デフレを加算したも
のであります。一般的に「名目金利」

から物価上昇率を引いて算出します。
また、「名目金利」とは預金金利年
0.5%とか無担保コールレート0.
25%などあります。
日銀は平成18年7月、ゼロ金利
を解除し政策金利の誘導目標を0.
25%にしましたが、消費者物価
上昇率は7月の前年比0.2%とな
り、実質金利はほぼ0%であります。
このため企業の設備投資が刺激さ
れる心配があるため、日銀は追加
金利引き上げを検討しているもの
です。
現状、景気拡大は大都市部や一部
業界が支えているのは事実でありま
す。日本経済の多くの中小企業は
まだバブル崩壊後の病み上がり状
況であります。金融政策はまだ景
気を下支える緩やかな味の運営が
望ましいと考えます。
しかしながら現状、金利は引き
上げ局面にあります。今後物価の
緩やかな上昇を前提に、平成18年
度内に0.25%を一回程度実施し、
平成19年度は1.2回の金利引き
上げが充分予想されます。
私ども金沢信用金庫は地域密着
金融機関として、組合員の皆様
のお力になりたいと思ひます。
年頭にあたり、皆様のご繁栄と
ご健勝をお祈りします。
本年も昨年同様にご指導賜りま
すようお願い申し上げます。

『本業回帰』

丸与商事株式会社 代表取締役社長 小西敏夫



新年明けましておめでとうございます。良い天候に恵まれ、皆様方には穏やかな新年を迎えられたことと思います。早いもので私も社長に就任し四年目の新年を迎えております。その間、多くの先輩、金沢問屋センターの理事及び総務委員会の方々のご指導を受け、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

さて、昨今の新聞紙上・テレビ・各メディア等で言われています国内景気が戦後最長の「いざなぎ景気」を超えて、また拡大基調にあると言われる中、私共、地方の小企業では実感として受け止められないのも現実ではないでしょうか。この現実を裏付けるように格差社会という新しい言葉が生まれ、弱者、切り捨ての時代でもあると言われる中、消費税率のアップ・諸税の増税等による実質所得の減少が懸念されます。我々一国民として将来の生活不安等の問題もあり、消費の低迷の時代が続くと思われまます。

私共、地方の中小企業といたしましては、地域格差・所得格差・業種規模の格差、どの言葉にもずしりと重みを感じずにはいられません。この問屋センターの中にも組織卸を主としております会社も多く見られます。私共の会社もその一社ですが、グローバルな経済活動の中、私共の業種は国内市場の中で営業活動を行っており、この先、人口の減少等による内需縮小等、諸々の問題を見据えた上で新たな改革・構築をしていかなければいけないと強く感じる昨今であります。

内彦三町で創業し、今年5月で創業97年を迎えることになりました。昭和42年10月に金沢問屋団地完成と同時に新社屋に移転し、今日に至っております。私は昭和40年入社し、この間吉野省吾社長をはじめとして5名の社長のもと、営業一筋で勤務いたしてまいりました。この間それぞれの社長の幾多の好・不調の時代に、本業をモットーとして今日に至ってきたことを見てまいりました。

亥年 男大いに語る

『将来の発展に向け 』

新しいビジョンを』



協同組合金沢問屋センター 常務理事 柳瀬彰一

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様にはいつもたいへんお世話になっており、改めて感謝を申し上げます。振り返りますと、我々団塊の世代は高度成長期を猪突猛進で駆け

抜け、気がついたら還暦が目の前に迫っていた、というのが実感であります。私が当組合にお世話になり、早いもので8年目を迎えております。前職の商工中金では、融資畑を25年経験し、その間多くの経営者に接し、また、多くの組合を見てまいりましたが、当組合ほど大規模にもかかわらずこれほどまとまりのよい組合はありませんでした。しかしながら、団地が完成して40年を経過した今、当地に卸団地を造ったことで当初の目標は達成したものの、業界の環境変化・建

物等の老朽化などのひずみが出ていくこと、また、北陸新幹線・金沢港再整備・外環状線などの整備が予定されており、これらを要因とする経済変化を見据えた、将来の発展に向けてのまちづくりの新しいビジョンを策定する必要があるのではないのでしょうか。完成40周年を迎える今年を金沢問屋センターの新たな出発の年として、当組合の価値を高め、組合員の皆様のご発展に繋がるようなビジョンを皆で作作り、新たな一歩を踏み出したいと考えております。組合事務局も以下のスローガンを掲げて変革に向けて努めております。

私の持味は「チャレンジ精神」にあると思っています。微力ではありますが、常にチャレンジ精神を持ち続け、組合の発展に尽くしたいと考えておりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

『心を変え行動する年に』

株式会社マツモト 部長 北口紀之



日頃は皆様にはいろいろとお世話になりありがとうございます。昨年は2002年2月からの景気拡大局面が「いざなぎ景気」を超えて戦後最長を更新したと伝えられましたが、私の勤務しております(株)マツモトは内装材料の卸売りをしていますが、私共の関連業界であります建築業界においては景気が良いという感覚には非常に乏しく、生き残り懸け日々同業他社との競争に明け暮れているように感じます。さてそんな中、年男としての今

年の目標は「改革」であります。偶然ですが我が社の任先メーカーの社長の年頭の挨拶の言葉に「現状維持」は即「衰退」であり「思い切った変革」こそが「繁栄」につながるという言葉がありました。俗に失われた10年(バブル景気崩壊後の1991年～2000年代初頭)と言いますが、その後我々中小企業の労働者には厳しい状況が続いているのが実感で、私自身もすると変革を嫌む現状維持の方向でここ数年きていたように思います。今年には年男という節目の年でありますから仕事面での目標をより明確に定めて、社内業務体制の「改革」に全力で取り組みたいと思っております。また、私は入社28年目になりますが、その間に学んだことは何事においてもやり続けることの大切さです。仕事の面ではいろいろと大変なこともありま

したが、何とかやってこれたのも最終的には諦めずに前向きに考えて日々努力を重ねてきた結果であると思えます。話は変わりますが、石川県が生んだ郷土の英雄と言えば今はヤンキースの松井選手ですが、彼を高校時代に指導した星稜高校の山下智茂監督の教えに「4箇条の教え」というものがあります。

①心が変われば行動が変わる
②行動が変われば習慣が変わる
③習慣が変われば人格が変わる
④人格が変われば運命が変わる
という教えです。ご存じの方もおられると思いますが、この教えは「才能とは努力できることである」という言葉に対しての教えであります。松井選手は今もこの教えを忘れずに日々努力を重ねているということを以前新聞で読みました。私も人生まだまだこれから努力の日々が続くと思えます。まず自分自身の心を変え、そして行動することを念頭に今年一年頑張りたいと思えます。



荒木商事株式会社 代表取締役社長 荒木 徹

バトンエッセイ

『運転マナーの良い、明るい金沢を』

今号からの新企画で、皆様の日頃思われていることや趣味について、社PRやなぞなぞなど、ご自由に書いていただきます。掲載された方が次の方を指名させていただきますので、よろしく願います。

新しく斬新な発想で広報誌が発刊されることになりました。バトンエッセイを行うということで、嬉しいことに第一回目の原稿を任されて何を書いてよいのか分からないまま原稿を書いています。

問屋団地の交通安全対策協議会を運営させていただいてますので、交通マナーについて書かせていただくかと思えます。飲酒運転は大きな社会問題となっております。何故これだけ世間で騒がれているのに後をたたないのか？ ただちよつとした心がけ一つなのに、なぜそれができないのか？ 残念であり悲

しくもあります。私は金沢における交通マナーは非常に悪いという印象を持っております。実際に県外から来られる方々もそういった印象を持たれることが多いようです。強引な割り込み、方向指示器を出さずに右折・左折をしていく、信号が赤に変わっても突っ込んでいく、言い出したらきりがありません。強引な運転者が多いのが現状です。自分が加害者となった時どう思うのか……。被害者やその家族・自分の家族・会社はどう思い、どうなってしまうのか……。ちょっとした心がけ、そして思いやりの心。それだけで防ぐことのできる事故は多いのです。

もっと真剣に考え行動してほしい。そう強く思う次第です。皆でマナーの良い、明るい金沢を目指して。とりとめのないことを思いつくまま書いてしまいましたが、次の人に素晴らしい原稿をお願いする次第です。

うちのキラリンさん

今号より掲載が始まりました。問屋町にお勤めの元気な社員の方をご紹介します。



フイドニー株式会社 砂山 亜紀子さん

営業先は金沢市内の書店さんです。文具や紙製品の新品紹介や、お客様に伝わるようディスプレイやPOPも自分で。とくにPOPは温かみがあって自分にしかできないものをと手描きにこだわっています。今は仕事で教わった水引作りが趣味に。営業に移ってまだ2年なのでお客様の方が商品知識が豊富、今はお客様に愛をもって育てていただいているところです。



株式会社マツモト 開発 真さん

入社以来7年、営業畑一筋です。いつも心に留めているのは「相手の気持ちになって考える」こと。お客様に喜ばれるのが一番ですから。今、熱中しているのは子育て。去年の11月に子どもが生まれ、可愛くて。お風呂も入れるし、おしめも替えますよ。仕事から帰って寝顔を見るとホッと、明日も頑張ろう！という活力が湧いてきます。